

## 社団法人園芸いばらき振興協会

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	村田省吾 (非常勤)	県所管部課	農林水産部部園芸流通課	
所在地	水戸市笠原町978-26	電話番号	029 - 301 - 1115	
ホームページURL	<a href="http://www.engei-ibaraki.or.jp">www.engei-ibaraki.or.jp</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:minakawa@engei-ibaraki.or.jp">minakawa@engei-ibaraki.or.jp</a>	
資本金(基本財産)	0千円	設立年月日	平成 7年7月19日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1		千円	%
	2		千円	%
	3		千円	%
	4		千円	%
	5		千円	%
	その他	団体	千円	%
設 立 目 的	園芸生産組織の整備強化、生産技術の向上、経営基盤の強化及び安定化並びに流通の改善を図るとともに、園芸農家等から排出される使用済農業用プラスチックの適正処理の啓蒙、指導、円滑な回収及び中間処理に関すること並びに園芸作物の種苗の生産、配布及び普及を行い園芸農家の健全な発展と農村環境の保全に寄与することを目的に設立した。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 園芸組織対策事業	16,820千円	生産、販売面での組織力の強化を図るため、品目別協議会を設立し、任意組合や個人出荷者を含めた研修会等の開催、情報紙の発行、各種団体への表彰事業及び流通対策として野菜消費宣伝のため野菜セミナー等を開催し消費拡大対策を図る。
事業2 園芸リサイクル事業	133,853千円	園芸農家等から排出される使用済農業用プラスチックの適正処理の啓蒙、指導、円滑な回収及び中間処理を行い農村環境の保全と環境の調和した園芸農業を進めている。
事業3 園芸種苗事業	28,868千円	県育成品種や、優良園芸種苗の安定的な生産・供給を行い、園芸新産地の育成及び園芸産地の維持発展を図る。

[組織]

年度	7月1日現在の人数	平成15年		平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB		
役員	常勤理事	1	0	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事	19	0	19	0	0	18	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	3	0	0	3	0	0
	計	23	0	23	0	1	22	0	1
職員	管理職	5	3	5	4	0	5	4	0
	一般職	6	0	9	0	2	10	0	2
	臨時職員	3	0	5	0	0	2	0	0
	嘱託職員	1	0	2	0	2	2	0	0
	計	15	3	21	4	4	19	4	2
当期常勤職員 の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
	5	2	3	9	19	44歳 8月	1年 7月		

## [収支の状況]

社団法人園芸いばらき振興協会

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	651,294	625,703	1,226,149
	事業収入	634,669	608,690	1,212,342
	事業外収入	16,625	17,013	13,807
	支出合計	540,285	680,984	1,231,871
	事業支出	513,132	653,469	1,176,251
	事業外支出	27,153	27,515	55,620
	うち管理費	118,506	110,975	130,841
	うち人件費	83,315	75,616	97,072
	当期収支差額	111,009	△ 55,281	△ 5,722
	正味財産増加額	61,790	102,967	109,220
	正味財産減少額	17,453	164,603	87,307
	当期正味財産増減額	32,832	△ 66,498	16,191
前期繰越正味財産	98,767	131,599	65,101	
期末正味財産	131,599	65,101	81,292	
財 産 の 状 況	資産	1,030,595	917,311	1,046,188
	流動資産	919,372	817,079	971,275
	固定資産	111,223	100,232	74,913
	負債	898,996	852,210	964,896
	流動負債	878,914	56,239	865,722
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	20,082	795,971	99,174
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	131,599	65,101	81,292	

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	232,214	347,490	522,268
	委託金	7,372	7,443	7,532
	貸付金			
	計	239,586	354,933	529,800
	財政的関与の割合(%)	37%	57%	43%
	損失補償・債務保証			

## [平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	別紙のとおり
委託金	別紙のとおり
貸付金	該当なし

〔財的関与の状況〕  
補助金

金額(円)	目的	内容	効果
31,043,000	農業用プラスチック処理再生対策事業費	園芸リサイクルセンターにおける農業用使用済塩化ビニールの処理運営に対する助成	園芸リサイクルセンターの運営及び使用済みプラスチックの回収・処理が円滑に行われた
9,041,000	農業用使用済ビニール回収事業費	農業用使用済塩化ビニールの円滑な回収を図るための助成	使用済み農ビの適正処理の啓蒙指導を行い回収(4,521ト)が円滑に行われた
2,359,000	農業用ポリエチレン適正処理対策事業費	農業用使用済ポリエチレンの円滑な回収を図るための助成	使用済み農ポリの適正処理の啓蒙指導を行い回収(1,124ト)が円滑に行われた(前年比118%)
45,270,038	いばらきの野菜産地強化総合推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸いばらき振興協会運営費</li> <li>・園芸団体組織強化事業</li> <li>・情報紙発行事業</li> <li>・品目別振興対策協議会設置事業</li> <li>・園芸振興表彰事業</li> </ul>	協会の運営及び、園芸主要品目の組織強化や生産向上講習会等各事業が円滑に行われた
1,400,000	いばらきの園芸品質向上運動推進事業費	産地育成アドバイザーを設置して、市場評価向上のための、組織的な取り組み活動の支援やリーダーが果たす役割等を学習する研修会を行うための助成	産地アドバイザー7名を設置しブロック別リーダー研修会の開催等市場評価を高める活動の支援を行った
8,000,000	産地構造改革特別対策事業費	野菜消費量の増加と摂取の習慣化を促進するため料理フェアの開催、野菜セミナーの開催、産地体験交流会等を実施するための助成	主要野菜について、産地体験・交流会・料理展示・試食会等各種の消費拡大対策を実施した
27,180,921	園芸種苗施設運営管理費	園芸種苗施設において、県育成品種の採種優良園芸種苗の安定的な生産・供給を行い園芸新産地の育成及び維持発展を図るための助成	園芸種苗センターの運定及びピーマン・トマト等の苗の安定的生産・供給(2,258千本)が円滑に行われた(前年比110%)
397,973,916	野菜価格安定対策事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜生産出荷安定資金造成事業</li> <li>・野菜価格安定運営費</li> <li>・県内消費野菜供給安定事業</li> <li>・転作野菜価格安定事業</li> <li>・新産地育成野菜価格安定事業</li> <li>・特定野菜等供給産地育成価格差補給事業</li> <li>・指定野菜供給事業</li> </ul>	野菜価格の低落時に生産者に対し価格差補給金を交付し野菜の安定的供給確保と野菜農家の経営の安定が図られた
計	522,267,875		

委託料

金額(円)	目的	内容	効果
300,000	なし及びくり生産指導者等研修会	梨及び栗の品質向上や生産性向上を目指し生産指導者を対象に技術的指導や研修会を開催する	剪定講習会等を実施し技術の向上を図った
500,000	第30回いばらき県花の展覧会	花の品評会の開催に係る業務(審査会、品評会の開催、ほう賞に係わる事、出品のとりまとめ等)	3/19~21実施、花き栽培技術と品質の向上を図った
4,600,000	野菜指定産地等整備活性化推進	産地の現状診断、産地整備計画等の作成に関する指導、産地育成に必要な技術指導や啓発活動を行う	産地の実態調査及び指導を行い、生産出荷体制の強化を図った
2,131,716	園芸種苗センター管理委託	園芸種苗センターの管理業務	園芸種苗センターの保守管理(ハウス、浄化槽、電気、消防、ポイラー)が円滑に行われた
計	7,531,716		
合計	529,799,591		

警戒指標

--

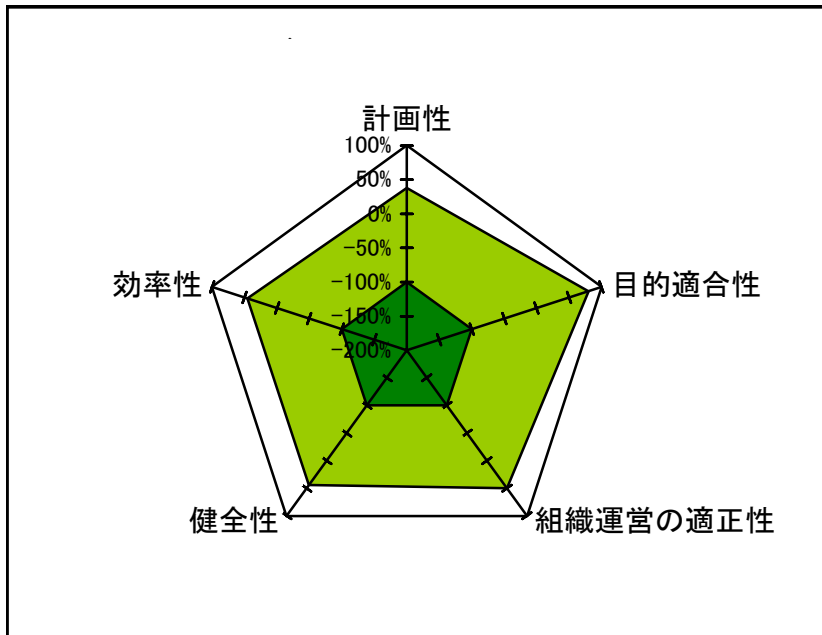
[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	3	8	37.5%
目的適合性	4	8	10	80.0%
組織運営の適正性	4	4	8	50.0%
健全性	10	16	36	44.4%
効率性	7	11	24	45.8%
合計	29	42	86	48.8%

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中長期経営計画は17年度に検討している。 年次計画をもとに戦略等を検討し、計画の実現に向け努力する。</p>	<p>県の園芸振興基本方針と整合を図りながら、行政及び団体と連携し、設立目的に沿って事業をすすめる。</p>	<p>派遣職員中心の組織であるため、派遣先の理解を得ながら、人員の適正な水準を維持し事業を円滑に遂行する。</p>	<p>会員(市町村・農協等)の合併等で会費収入の減少や県からの補助金依存度が高いことが課題である。効率的な事業運営に努める。</p>	<p>引き続き、経費の削減等に努める。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>本県の園芸は、生産・販売面での組織力の強化、品質の向上、本県産のイメージアップ等が課題である。このため、引き続き県域での生産・出荷組織づくりを進めながら、生産技術の向上及び流通改善等の事業を展開する。また、野菜価格安定事業や農業用プラスチックの適正処理及び園芸種苗事業は、園芸振興と密接な関係があるので更に園芸農家への啓蒙を図る。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
県では、生産者や関係機関と一体となって本県農業の改革に取り組んでいることから、早期に中長期計画を策定する必要がある。	県で策定した「茨城農業改革大綱」との整合性を図りながら、事業の執行を進めていく必要がある。	市町村やJAからの派遣職員の適正な人員確保に努めていく必要がある。	事業規模の拡大に伴い、効率的な事務事業の執行のほか、受益者である会員へ応分の負担を求めていく必要がある。	引き続き、効率的な事務事業の執行に努め、経費の節減に取り組んでいく。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	(社)茨城県穀物改良協会の園芸部門(種苗)を(社)園芸いばらき振興協会へ平成16年度中に移管する。		平成16年4月1日をもって移管完了	
法人担当課の意見	<p>・前年度までの経営評価を踏まえ、平成16年度から野菜価格安定事業による経費について、経営基盤の強化を図るため受益者から応分の負担を求めたとともに、経理部門の強化のため、職員1名の増員を図った。</p> <p>・協会の中長期計画策定については、利用者ニーズを把握するとともに、県で策定した「茨城農業改革大綱」との整合性を図りながら、今年度中を目処に策定する。</p> <p>・(社)茨城県穀物改良協会の園芸部門(種苗)の当協会への移管については、平成16年4月1日に完了しており、今後はその円滑な運営に努めて行く必要がある。</p>			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div>
	<p>野菜価格安定事業については、これまで対象野菜などに応じて全農茨城県本部と分かれて業務が行われていたが、今回全農茨城県本部に業務を委託し一体的に行ったことは、利用者の利便性の確保や運営事務の効率化等から評価できる。今後とも、サービスの向上や一層の業務の効率化に努められたい。</p> <p>なお、園芸リサイクルセンターの修繕等にあたっては、現在施設維持引当金として処理されているが、効率的な修繕等を進めるためには、県補助金を含めた修繕等のあり方について県と協議する必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>野菜価格安定事業の業務委託をはじめ、本県園芸の生産振興対策や流通改善対策等について、事業量に応じた組織や人員配置の見直し等により運営経費の圧縮に努め、より一層の効率的かつ適正な法人運営が実施できるよう指導していく。</p> <p>また、園芸リサイクルセンターの修繕等については、施設の老朽化が進んできたことに伴い、計画に基づいた修繕を実施するとともに、施設維持引当金の取扱いについては、市町村や農業団体等からの意見を聴きながら検討するよう指導していく。</p>

< 社団法人園芸いばらき振興協会 から県民のみなさまへ >

<p>(社)園芸いばらき振興協会は、県の園芸振興基本方針に沿って、任意組合等を巻き込んだ県域の組織づくりを進めながら、生産技術の向上及び流通対策の強化や野菜価格安定事業を実施するほか、環境と調和した園芸農業を展開するため、農業用使用済みプラスチックのリサイクルや、園芸産地づくりに寄与するための園芸種苗の生産及び優良品種の普及等に取り組んでいます。</p> <p style="text-align: right;">平成18年2月 会長 村田 省吾</p>
---